相馬地方広域市町村圏組合からのお知らせ

平成 25・26 年度入札参加申請を受付

相馬地方広域市町村圏組合では、平成 25・26 年度の委託及び物品購入等の入札参加申請を受け付けします。要項及び様式は組合事務局、消防本部、相馬看護専門学校で配布するほか、組合のホームページからダウンロードもできます。

受　付　期　間　平成 24 年 11 月 1 日（木）～ 30 日（金）
ホームページアドレス　http://www16.ocn.ne.jp/~s-koiki/
問 い 合 わ せ 先　組合事務局（℡0244-35-0211）

相馬看護専門学校学生を募集します

相馬看護専門学校では、平成 25 年 4 月入学の学生（一般入学試験）を次により募集します。

募 集 人 員　40 名（推薦入学試験を含む）
修 業 年 限　3 年
受　験　料　2 万円

一般入学試験

受験資格
学校教育法による高等学校を卒業した者（平成 23 年 3 月卒業見込みの者を含む）。または、これと同等以上の学力があると認められる者。

願書受付
平成 24 年 11 月 16 日（金）～ 12 月 14 日（金）
※郵送の場合は締切日の消印のあるものまで有効

試験期日
第 1 次試験　平成 25 年 1 月 8 日（火）
第 2 次試験　平成 25 年 1 月 29 日（火）

試験の方法
第 1 次試験　学科試験【国語総合（漢文は除く）、数学Ⅰ、英語Ⅰ、生物Ⅰ】
第 2 次試験　面接試験

募集要項・受験願書の配布
募集要項・受験願書は、相馬看護専門学校において配布しています。郵送希望の場合は、返信先（氏名、郵便番号、住所）を記載し 240 円切手を貼った返信用封筒（角型 2 号 24cm×33 cm）を必ず同封のうえ請求してください。
また、募集要項は相馬看護専門学校ホームページにも掲載しております。

申し込み・問い合わせ先
相馬看護専門学校総務係（℡0244-37-8118）
〒976-0006　相馬市石上字南蛯沢 344 番地

こころのぽけっと

「ふるさとへの想い」

村の文化祭が2年ぶりに開かれました。これは、福島県文化センターの特別の計らいによって実現したものでした。

避難中ゆえ、どの程度の出品があるかと心配していましたが、作品の素晴らしさ、数の多さは村で開催していた以上であり、私の心配ごとは見事に覆（くつがえ）されてしまいました。とてもうれしくて、感激に浸ってじっくり見させていただきました。福島市民の方も多く見学されており、「飯舘村の方々は素晴らしいね」との声が多くあったという話を文化センター長から聞きました。

作品の中には避難中ならではのものが多く、私の心は揺さぶられ通しでした。例えば、小学生の学年作品の題名は、1年生が「みんな　ともだち」、2年生が「思い出の場所」、3年生が「かがやけ飯舘」、4年生が「心をひとつに」、5年生が「明日へ…」、6年生が「一生つながる絆」でした。子どもたちがふるさとを思いながら頑張ろうとしているんだということが伝わってきて、思わず涙がこぼれそうでした。

また、大人の川柳作品でも、「原発の風が　風の子追い散らし」「先見えぬ　テレビと新聞　にらめっこ」など、この災害へのやるせない気持ちを歌っていました。またその中でも、少しでも前を向いて過ごそうという村民の切ない心が、「ご近所に　天国もある　避難先」「仮設でも　住めば都と　苦笑い」などと表現されていてほっとしたところでした。そして「いつか又　笑おう　野の幸　山の幸」「赤とんぼ　までいの村は　わが故郷」とふるさとを思う気持ち、いいたての良さの歌には足を止めて何度も繰り返し目を通す自分がありました。

平成24年10月22日　飯舘村長　菅野　典雄

9/27 コンパクトな耕運機「ピアンタ」の贈呈

ホンダの自動車販売を行う県内の店舗でつくる「福島県ホンダ会」から、ホンダ社製の小型耕運機「ピアンタ」が寄贈されました。ピアンタは、家庭用カセットボンベのガスを燃料に駆動する、持ち運びに便利なサイズの耕運機。村社会福祉協議会が保管して貸し出しを行います。利用の申し込みは村社会福祉協議会（☎024-562-3622）まで。

◀利用のようす。小回りがききます

ピアンタ
家庭用カセットボンベ 1 本（内容量 250ｇ）でおよそ 1 時間・約 32 坪を耕すミニ耕運機。

◀ピアンタが到着。組立方法など説明を受けました

避難先から飯坂に集う 長泥行政区の研修会 9/30

長泥行政区の皆さんが、飯坂温泉にあるホテル「摺上亭　大鳥」に集まり、研修会を開きました。行政区内のおよそ 6 割にあたる約150人が、各避難先から参加。今後を話し合う研修の後には、長泥の懐かしい景色を写真で見たり、奄美大島から訪れたボランティアの三線（さんしん）と太鼓に合わせて踊ったりして、再会の時間を大いに楽しみました。

現在の課題や今後について話し合う研修のようす ▶

◀久しぶりに顔を合わせた皆さん。会食の間もにぎやかに

10/2 飯舘中学校の生徒たちによる「日本人の忘れもの」プロジェクト

▲事業をPRする実行委員の皆さん。「日本中の人のことばで絆を深めていきたい」

村が中学生の事業を支援する「やったね！事業」として、「日本人の忘れもの」プロジェクトがスタートし、実行委員の生徒らが発表記者会見を開きました。このプロジェクトは、日本人が大切にしてきた言葉を全国から募り、20 点前後を選考してモニュメントに刻むもの。震災後の励ましに、言葉の力を実感したことが構想のきっかけになっているそうです。

日本人の忘れもの
心に残る 10 文字以内の言葉に、選んだ理由も付記してハガキで応募。飯舘中宛 11 月 15 日締切。